

全国協議会 ニュース

2011年12月1日発行 第234号

発行所 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:中野勝博
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754
銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

各地で募金活動を展開 東日本大震災被災者支援基金

4月に事業を開始した「東日本大震災被災者支援基金」。これまで12件で175万円(11月20日現在)の給付を行いました。9月初めに被災地で行った広報活動が功を奏し、市報や健康だより等で紹介された自治体もあり、問い合わせや申請が相次いでいます。多くの方に給付できるように、積み増しにも力を入れるため、今回、のぼりや募金箱を作成し、早速、各地で募金活動に取り組んでいただきました。

今後、各地での募金活動が予定されており、新たな募金活動の企画もお願いしております。全国協議会までご相談ください。

◆渋谷

11月12日、13日、代々木公園で開催された『骨髄バンク20周年記念イベント』SNOW BANK PAY IT FORWARD 2011会場、全国協議会主催の初めての募金活動を行いました。

全国協議会理事や事務局員の他、群馬・埼玉・東京・神奈川の会から両日で延べ50名近いボランティアさんが参加くださり、会場内だけでなく、公園周辺を通る方たちにも募金への協力が呼びかけられました。

骨髄バンクの普及啓発を主体としたイベント会場での募金活動でもあり、会場内での協力呼びかけでは、来場者のみなさんもおこころよくサイフのヒモを緩めてくださいました。

募金活動だけでなく、ドナー登録の呼びかけや、いのちの輝き展の紹介、果ては子どもたちのそり遊びのお手伝いと、ボランティア活動の幅が広がりました。



11月19日は全国協議会が設定した全国一斉キャンペーン開催日でした。東京では、銀座の数寄屋橋公園で全国協議会の理事・事務局員、加盟団体会員ら9人が参加し、支援基金への募金を訴えました。



◆銀座

好天にも恵まれ、木々が色づく屋外で、有名ラーメン店や沖縄料理のケータリングも楽しみながらの活動になりました。

◆徳島

とくしまの会では、11月6日に徳島市内の新町川水際公園において第7回ボランティアフェアに参加し、骨髄バンクと支援基金への協力を呼びかけました。

天気は少し悪かったものの、徳島の秋一番のイベントである「阿波の狸まつり」なども併せて行われ、大勢の方が立ち寄ってくれました。

骨髄バンクと支援基金のちらしをチャンスやキティティッシュとともに配布し、多くの方から応援の声をいただきました。大震災で被災された患者さんに徳島からの声援が少しでも届けばと思います。

また、今回だけに限らず、機会があれば今後とも継続して取り組みたいと思います。(とくしまの会 池田)



残念なこと、朝から下り坂気味だった天気は昼には黒雲が空を覆い夕暮れのような暗さのなか風を伴う大雨となる大荒れの天気となりました。晩秋の冷え込みも加わり寒さにも震えた街頭キャンペーンでした。

傘を開きもう一方の手でチラシやティッシュを配付するのは大変です。通行人も荷物を持ち傘をさしているところ、チラシを受け取るどころではありません。

◆岐阜

美濃加茂あじさいライオンズクラブは、11月13日、岐阜県美濃加茂市のプラザちゅうたいで開催された「みのかも産業祭ファイナル」において、骨髄バンクドナー登録会と献血活動を行いました。

この活動は、毎年足で歩くだけで、募金したくても誰だつて財布を取り出すのもおっくうになりますよね。

このような最悪のコンディションのなか数千円の成果をあげ、やむなく予定の時間を繰り上げて終了しました。

これにくじげず、今後も何回か全国協議会主催の募金活動日企画していきたくと思っております。(大田)



◆埼玉

埼玉連絡会は、11月19日、サント・フロリアン・チャリティコンサート会場募金活動を行いました。

コンサート冒頭の会長挨拶で募金をお願いを行い、休憩時間には、みんな&ナツちゃん(首導犬)が募金箱を持って呼びかけ、寄付して頂いた方に大谷さ

先月号まで連載した菅野倫匡さんの手記を受けて、お母様でドナー経験者の菅野美奈さんが書いてくださった心の声です。今号より数回にわたり連載します。

心の声

この度は思いがけず、私が骨髄提供当時に12歳だった息子が何をどの様に感じていたのかを書いて貰うチャンスに恵まれました。

あの時は、突っ込んで彼の気持ちや体験談は、今後の良い思い出となるばかりでなく、改めて

自衛隊大宮駐屯地の創立記念イベントで、また、12、13日の深谷市福祉の市でも取り組みを行いました。(埼玉の会 笠原)

世界で「グローバルボランティアデー」都内3箇所の献血ルームで啓発活動

10月29日、ブルデンシャル生命東京第二支社の社員とご家族の皆さま延べ40名と共に新宿・渋谷・有楽町の献血ルームにおいて、啓発活動を行いました。

この日はブルデンシャルグループ各社の年に一度の「グローバル・ボランティアデー」。今年で17回目を迎えるこの社会貢献活動プログラムは年々規模が拡大し、今年も世界10カ国で総勢2万5千人以上がボランティア

日本では、東日本大震災の被害が甚大に被災地での活動をされた社員が多い中で、東京第二支社の皆さんは「継続してこそ意義があり」と、昨年に引き続き献血ルームでの啓発活動をしてくださいました。同社では日頃からお客様へ骨髄バンク登録についてや献血の必要性をよく話されているようで、活動当日もお客様数名が献血や骨髄バンク登録をしてくださったり、わざわざ啓発活動を激励にいらしたりという場面もありました。

JR有楽町駅付近ではグループ会社の他の社員の方があしなが基金の募金の呼びかけをして活動の姿もありました。

世界中の色々なところでこのような心をこめた活動がいくつも行われているのだなと思うと人と人の絆の大切さを実感できました。(仲本)

理事会メンバーの抱負

骨髄バンクの名も知られぬ時代から必死に取り組んで参りました。10年程前からは、献血バスに合わせて毎日のようにドナー登録会を行い、沖縄のドナー登録者数も急激に増加しました。その活動の中で、献血を数多く行う人の骨髄バンクへの関心の高さを感じ、登録活動の主体を血液センターに移行することで、骨髄バンクの普及が高まるのではないかと感じています。沖縄では、3年前から県の雇用促進システムで説明員を雇い、移動献血バスとともに登録会を行っています。いつでも、ドナー登録ができるので、登録希望者に好評です。

東日本大震災で、ボランティアが育っている今、献血もドナー登録も気軽にできる社会になってくれることが、私の願いです。

再任理事の三田村です。理事復帰は2006年以來ですが、この間児童保育所NPO立ち上げ、医療政策プログラム、知的障がい児支援活動に取組み、また造血細胞移植学会の委員会活動(移植登録一元化事業、データ利用ワーキンググループ、法制度検討、ドナー安全)に関与してきました。今回の東日本大震災により人生観を大きく揺さぶられ、再び骨髄バンク支援運動という私にとつての原点復帰を決意しました。震災対応、根拠法整備、他疾患の患者団体との連携、情報共有などに取り組みたいと考えます。今後共どうぞ宜しくお願い致します。

東恩納美恵子 理事

三田村 眞理事

加藤 弦 理事

東日本大震災被災者支援基金

10月21日～11月20日 (合計3,596,429円)

嶋津 桂子	現金	3,000円
としまふれあいバザール会場募金箱	現金	10,087円
とくしま骨髄バンクを支援する会(街頭募金)	現金	2,778円
代々木公園イベント会場募金	現金	95,007円
数寄屋橋公園街頭募金	現金	2,267円
	(敬称略)	

給付累計件数 12件 合計1,752,010円

基金積み増しにご協力ください

●郵便振替(通信欄に震災支援と記載)
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
00150-4-15754

●銀行の場合
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
ゆうちょ銀行 008店 普通 4799951

共催イベント 北から南から

島根県浜田市 講演会と交流会 益田市市長も経験語る

私たち、いろいろな会、島根県西部の主婦・会社員・自営業者等の色々な人が集って5年前に発足、この度5周年を記念して、患者・患者家族・ドナー経験者・ドナー経験者家族・医療関係者・ドナー登録者・ボランティア・そして一般の参加者の交流会と、全国協議会前会長大谷貴子さんの講演会を開催しました。



交流会では、会うことのない患者さんとドナー経験者の同士が自分の思いを語り、生きていくことへの感謝の気持ちや、提供した気持ちを正直な言葉で語って、改めて骨髄バンクの必要性・ドナーの大切さを感じました。平素では耳にする機会のないお話を伺い、ボランティア活動している私たちは、ほんの少しでも「命」に携わり、役に立っているのだと実感しました。講演会は、大谷さんの発病、移植、骨髄バンクが出来るまでと、すごく大変だったであろう話を、判りやすく笑いも交えて講演いただきました。後半は、当会の登録会でドナー登録し、今年骨髄を提供された益田市の福原慎太郎市長にも登壇いただき、登録から提供までの経験談をお話いただきました。ドナー経験者として会場からの質問にも答えていただき、生の声を聞けた素晴らしい時間でした。

宮城県仙台市 被災地復興を願う 17回目の街頭パレード



今年で17回目の骨髄バンク街頭パレードは、「被災地の復興に取り組んでいる皆さんを元気づけたい」という趣旨で、「ふるさと」の歌ミニコンサート」を同日開催することとしました。当日10月29日は秋晴れの好天に恵まれ、会場の元鍛冶町公園の野外ステージには、合唱団クニックス仙台の「青葉城恋唄」ほか全18曲の力強い歌声が響き渡り、多くの聴衆を魅了しました。引き続き行われた街頭パレードでは、利府小学校マーチング隊を先頭に、ガールスカウト・ボーイスカウトなど2百名が数多くのプラカードやのぼりを掲げて繁華街の東一番丁を

堂々と行進し、骨髄バンクへの協力を沿道の多数の市民にアピールすることが出来ました。(宮城の会 小島)

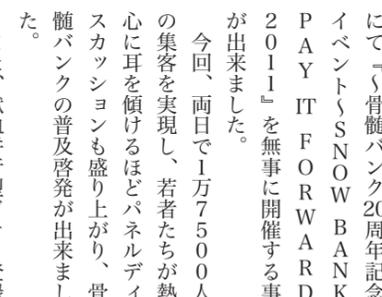
福島県西白河郡 15周年記念事業に代えて 復興支援コンサート開催



平穏な市民生活が一瞬にして変貌した3月11日。尊い命、財産を失い、また全国に避難し故郷に帰ることさえできず不安な冬を迎える方は8万人に達します。

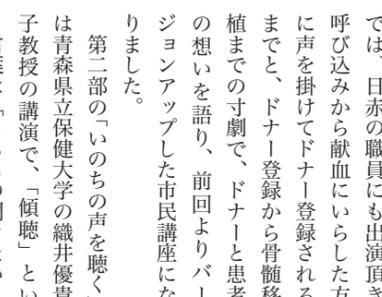
づくり」と次世代につなぐ「命のリレー」の大切さを学びました。(福島の会 関根)

東京都渋谷区 代々木公園に「雪」?! 普及啓発の新しい形



11月12日、13日、代々木公園にて「骨髄バンク20周年記念イベント」SNOW BANK PAY IT FORWARD 2011」を無事に開催することが出来ました。今回、両日で1万7500人の集客を実現し、若者たちが熱心に耳を傾けるほどパネルディスカッションも盛り上がり、骨髄バンクの普及啓発が出来ました。

青森県青森市 「傾聴」が心をつなぐ 寸劇で語る思い



11月12日、青森市のアウガ五階AVホールで骨髄バンク20周年記念・第11回市民公開講座が開催されました。第一部「骨髄移植を知らう」では、日赤の職員にも出演頂き呼び込みから献血にいらした方に声を掛けてドナー登録されるまでと、ドナー登録から骨髄移植までの寸劇で、ドナーと患者の思いを語り、前回よりバージョンアップした市民講座になりました。

各地のり お寄せください

福岡 福豊帝酸株60周年記念 社会貢献イベント活動

創業60周年を迎えるにあたり、50周年、55周年に引き続いての骨髄バンクへの社会貢献活動を行いました。今回はお世話になっている地域への感謝の気持ちを込めて、10月15日の飯塚灯明まつり、11月6日は筑前かがしまつりの会



手の言いたいこと、伝えたいこと」を「受容的、共感的態度で聴く」ことであることを学びました。

青森県青森市 「いのちのリレーコンサート」 では、青森山田中学高等学校の吹奏楽研究会の生徒が一生懸命に演奏する姿に、つい涙してしまいました。最後は恒例になつてきた「まろまるテーマソング」の合唱で終わりました。(佐藤)



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

医療講演会参加レポート 東大医科附属病院 第14回市民公開医療懇話会 「貧血といわれたら、赤血球のお話」

9月28日のテーマは血液腫瘍内科教授 東條有伸先生による講演で、血液検査の異常で一番多い貧血のお話でした。血液中には、酸素を運ぶ赤血球、細菌やウイルスと戦う白血球、出血を止める血小板に大別される血球が存在します。この中の赤血球が足りなくなるのが貧血です。赤血球中の鉄分は酸素をくっつけて、各組織に酸素を運ぶ役目をします。血液の中の酸素濃度は、腎臓がセンサーとなって、酸素不足を感じると、エリスロポエチンを出します。この指令を受け、骨髄が赤血球を生産し、120日位の寿命で脾臓において破壊されているとのこと。したがって、貧血は腎不全や、骨髄の疾患、慢性疾患等でも起きますが、一番多いのは鉄欠乏性とのことでした。日本人の女性では、約50%が鉄欠乏との調査結果があるそうです。

また、特筆すべきは最近の子どもは鉄分不足気味で問題になっているようです。親御さんは食物には十分注意をしておいてください。高齢者の貧血も多く、10分の1の方が該当し、ビタミンC(吸収を助ける)鉄分、タンパク質を十分取るのが良いようです。また、ピロリ菌の除去が効果のある場合があるそうです。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする-骨髄バンク NOW

(財団マンスリー-JMDP (11月15日発行)より抜粋)

■10月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム / 1,717人、献血併行型集団登録会 / 2,617人、集団登録会 / 269人、その他 / 104人

◆日本骨髄バンクの現状(平成23年10月末現在)

	9月	10月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,837	4,707	395,743	519,073
患者登録者数	205	224	2,816	34,160
骨髄移植例数	118	108	-	13,505
20歳未満ドナー登録者	-	331	16,034 ¹⁾	-
51歳以上ドナー	206 ²⁾	198 ³⁾	24,799 ⁴⁾	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
¹⁾ 17年3月～²⁾ 51歳以上ドナーの延長数³⁾ 51歳以上ドナーの新規登録数⁴⁾ 17年9月～

心からのご寄付に 感謝申し上げます

10月21日～11月20日

久喜南中学校PTA	現金	16,750円
徳島藍ライオンズクラブ	現金	11,004円
上入来 正	現金	500,000円
藤波 敬子	現金	10,000円
花谷 耕次	現金	2,980円
ワタナベアキ	現金	3,000円
長瀬 裕	現金	10,000円
飯島 孝枝	現金	2,240円
奥谷 麻子	現金	1,380円
匿名	現金	4,730円
匿名	現金	5,000円
●白血病患者支援基金		
株)モンキーヒル	現金	15,127円
イオンマリンピア専門館	現金	4,732円
田方薬局	現金	6,297円
嶋津 桂子	現金	3,000円
安東 慎次	現金	1,188円
●佐藤さち子患者支援基金		
MRIインターナショナルINC.	現金	26,000円
MRIインターナショナルINC.	現金	36,000円
安藝 恭介	現金	30,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会